

令和4年第2回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しくください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

9月13日（火）

- | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-------------|---------|
| (1) | 竹内 | きよ子 | 議員 | (明石かがやきネット) | …… P 2 |
| (2) | 千住 | 啓介 | 〃 | (自民党 真誠会) | …… P 4 |
| (3) | 国出 | 拓志 | 〃 | (公 明 党) | …… P 6 |
| (4) | 林 | 丸美 | 〃 | (明石かがやきネット) | …… P 8 |
| (5) | 石井 | 宏法 | 〃 | (自民党 真誠会) | …… P 9 |
| (6) | 飯田 | 伸子 | 〃 | (公 明 党) | …… P 10 |

9月14日（水）

- | | | | | | |
|------|----|-----|----|-------------|---------|
| (7) | 吉田 | 秀夫 | 議員 | (明石かがやきネット) | …… P 11 |
| (8) | 寺井 | 吉広 | 〃 | (自民党 真誠会) | …… P 13 |
| (9) | 松井 | 久美子 | 〃 | (公 明 党) | …… P 14 |
| (10) | 梅田 | 宏希 | 〃 | (公 明 党) | …… P 16 |
| (11) | 尾倉 | あき子 | 〃 | (公 明 党) | …… P 18 |
| (12) | 楠本 | 美紀 | 〃 | (日 本 共 産 党) | …… P 19 |

9月15日（木）

- | | | | | | |
|------|-----|----|----|-------------|---------|
| (13) | 森 | 勝子 | 議員 | (維 新 の 会) | …… P 21 |
| (14) | 家根谷 | 敦子 | 〃 | (ス マ イ ル 会) | …… P 23 |
| (15) | 宮坂 | 祐太 | 〃 | (フォーラム明石) | …… P 24 |
| (16) | 丸谷 | 聡子 | 〃 | (かけはしSDGs) | …… P 26 |
| (17) | 辻本 | 達也 | 〃 | (日 本 共 産 党) | …… P 29 |
| (18) | 北川 | 貴則 | 〃 | (維 新 の 会) | …… P 31 |

※ 順位については予定です。

令和4年第2回定例会9月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 令和3年度明石市一般会計決算について</p>		
	<p>(1) 決算の歳出の状況について (要旨) 目的別の歳出内訳の構成比について、子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金給付事業費を含む扶助費の大幅増加により、民生費が令和2年度の40.2%から50.9%に増加している。一方で、農林水産業費0.4%、商工費0.7%、土木費5.5%と、コロナ対策で財政的なバランスに悪影響が及んでいることはないか。コロナ対策事業費を除いた分野別の財政バランスをどう考えるのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 投資的経費の減少について (要旨) 投資的経費が、23億4,699万3千円減少し、前年度比22.3%の減になっている。今後、改修が見込まれる学校校舎、市民会館、道路橋梁などの老朽化した施設について、長寿命化計画により改修・補修を先送りしているのではないかと危惧される。市の見解を問う。</p> <p>(3) 今後の財政運営の見通しをどのように考えているのか。 (要旨) 財政構造の弾力性の指標となる経常収支比率は91.5%となり、前年度に比べ2.7ポイント改善したものの、実質公債費比率は悪化しており財政負担が大きくなると推測される。コロナ禍にあり、経済が低迷し先行きが不透明な中、今後、新庁舎整備、クリーンセンターの建て替えなどが予定されており、これに伴う公債費の増や、少子高齢化に伴う社会保障関係費の増などが考えられるが、市の見解を問う。</p>		
<p>2 市内小・中学校における教育環境整備について</p>			
<p>(1) 本市の教職員不足の実態と対策について (要旨) 全国的にも深刻化している教員不足だが、本市も多くの学校で欠員が解消できていない。その現状を確認するとともに、教育委員会の考える原因、解消への取組、今後の見通しを聞く。</p> <p>(2) 統合型校務支援システムの進捗状況について (要旨) 導入された同システムを用いて学期末の事務や保健調査などが行われているが、学校現場においてはどのような活用状況になっているのか、市の見解を問う。</p>			

発言順位	1	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>(3) 2学期の始業日の設定について (要旨) 今年度の2学期の始業日は、小学校が8月26日、中学校が8月23日となっている。コロナ禍でもあり、熱中症の心配もある中、なぜこの日に設定したのか。理由と今後の見通しを問う。</p> <p>3 明石市の投票率向上に向けて</p> <p>(1) 若年層の投票率向上について (要旨) 今年度の参議院議員選挙の投票率は、やや上がってはいるものの、49.77%である。前回の統一地方選挙の投票率は、兵庫県議会議員選挙が34.79%、明石市議会議員選挙は36.99%と平成27年度の45.49%と比べて8.5%下落している。投票率はこの先も低迷傾向が続いていく可能性も考えられる。選挙権年齢も18歳以上になっているため、高校などにも呼びかけたりする工夫が必要ではないか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 投票率の向上策について (要旨) これまで、投票用紙を手で押さえなくても書けるシートの導入や、有権者が階段を使用せざるを得ない不自由さを解消するなどの工夫がされているが、さらなる投票率向上のための工夫が必要であるとする。市の見解を聞く。</p>		

発言順位	2	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	1 令和3年度決算及び基金について		
	(1) 実質収支黒字化と基金増加の要因について (要旨) コロナ禍において、一般会計実質収支の黒字化、基金現在高の増加となっているが、その要因を市に問う。		
	(2) 歳出の構成比について (要旨) 目的別内訳を見ると民生費の構成比が突出して高い。また、商工費は実数としてコロナ禍前も含めて過去5年間で最も低い決算額及び構成比になっている。商工業者に対して本当に厳しい本市の姿勢が垣間見られる結果となったが、市の見解を問う。		
(3) 各種指数について (要旨) 財政力指数が、令和3年度は前年度と比べて0.023ポイント悪化しており、近年徐々に悪化している。類似団体平均とも差が開いてきている。また、実質公債費比率も徐々に悪化傾向にある。将来負担比率においては減少が続いているが、これは市役所本庁舎及びクリーンセンターの建て替え、その他大型の設備更新を先延ばしにしている現状を考慮すると、今後、急激な悪化が見込まれるが、市の見解を問う。			
2 あかし安全のまちづくり計画について			
(1) 本計画の見通しについて (要旨) 市民の生命と財産を守るために、最悪の事態を想定し、事前に備えるべきことを目標に設定する計画であるが、現状の進捗状況と今後の見通しについて、市の見解を聞く。			
3 市内の均衡ある発展について			
(1) 大久保北部遊休地の利活用について (要旨) 令和3年度施政方針で市長自らも述べられたスマートインターチェンジの設置等を含めた大久保北部遊休地の利活用について、議会に対する報告ではNEXCO西日本との時期的な調整ができずに遊休地への土砂受け入れはなくなった。スマートインターチェンジ設置や遊休地利活用については環境調査等を行いながら検討を進めていくとしているが、その後どのように進んでいるのか、市の見解を問う。			
(2) 大久保駅周辺エリアの市有地の利活用について (要旨) 大久保駅周辺エリア、特にJT跡地や市民センター、市民センター南側駐車場等の今後の利活用に関して、市の見解を問う。			

(代表質問)

発言順位	2	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>4 DX推進事業について</p> <p>(1) 自治体DX推進において目指すべき本市の姿について (要旨) 何のためにDXに取り組むのかを明確にする必要がある。まずは、本市が目指す姿を示し、そのために何を遂行するかを計画を立てて行うべきと考えるが、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 市内デジタルセキュリティーについて (要旨) IT化が進むにつれてデジタルセキュリティーの強化は必須である。市内セキュリティーは万全と言えるのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 西明石について</p> <p>(1) 西明石について (要旨) 真に西明石が、「本当に住みやすい街大賞2022 in 関西」の第1位にふさわしいまちになるためにも、評価ポイントの中に入っている「地域交流拠点と市民サービス機能を持つ複合施設の新設」が実現してこそ第1位ではないのか。</p> <p>2 防災・減災対策について</p> <p>(1) 本年6月に修正された国の防災基本計画を受けた市の対応について (要旨) 本年6月に修正された国の防災基本計画では、アレルギーに対応した食糧の備蓄について、自治体の努力義務として初めて明記した。本市としては、今後どのようにすべきと考えているか、現在の状況も踏まえて聞く。</p> <p>(2) 避難所における女性専用スペースの設置について (要旨) 大災害時には、避難所の混乱に乗じて女性避難者に対する性暴力被害があったという報告がある。それらを防止するためにも避難所に女性専用スペースが必要ではないのか。あわせて女性の管理責任者の配置やジェンダーの視点からも避難所運営の最高責任者は男女が共に担う共同責任者の配置が必要ではないか。</p> <p>(3) 移転が予定されているサンライフ明石の防災減災機能の強化について (要旨) 地域の防災拠点として、備蓄物資をはじめ被災者を受け入れる装備や機能を備えたサンライフ明石にしていくべきと考える。</p> <p>(4) 南海トラフ地震臨時情報への市の取組について (要旨) 本市は南海トラフ地震防災対策推進地域の指定を受けているため、当然ながら、市民にも同情報を周知しておく必要はあると考えるが、周知に向けた市の取組方針について問う。</p> <p>(5) 地域の防災・減災のリーダー育成について (要旨) 平時から市内におられる防災士の皆さんと市との連携強化が必須ではないか。そのためにも、まず、市が先導し中心となって市内の防災士を集め、一体となった活動が必要ではないか。</p> <p>(6) 災害時のドローンの活用について (要旨) 災害対策として、ドローンの導入及びその操作ができる人材の育成が必要ではないか。</p> <p>(7) 明石市地域防災計画の改定について (要旨) 今回の見直しは、避難所運営にジェンダー視点が取り入れられ、先に述べてきたような様々な観点からのアプローチもあるかと思われるが、具体的な内容について聞く。</p>		

発言順位	3	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>3 男性用トイレにサンタリーボックスを設置しないか</p> <p>(1) 男性用トイレにサンタリーボックスを設置しないか。 (要旨) サンタリーボックスを必要としている方がおられる以上、誰一人取り残さない、インクルーシブな明石市だからこそ、こういった方たちのためにも、全庁を挙げて取組をしていくべきではないか。</p>		

発言順位	4	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯への支援について</p> <p>(1) 現状について (要旨) 新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず、現在の第7波では、かつてないほどに感染者数が増えている。感染、濃厚接触で自宅待機期間が長引くことにより、勤務できず、収入が途絶え生活に深刻な影響を受けている世帯もある。新型コロナウイルス感染症に起因する生活困窮世帯に対し本市が行っている支援について現状を問う。</p> <p>(2) より効果的な支援の必要性について (要旨) コロナ終息の見通しが立たない中、生活が立ち行かなくなってしまう市民は今後も増えると思われる。支援の網の目からこぼれる市民が出ないように、新たな支援が早急に必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス特例貸付の償還について (要旨) 2023年1月から、新型コロナウイルス特例貸付の償還が開始される。感染症の拡大、雇用の問題、物価の高騰など社会情勢も不安定な中、生活を安定させながらの償還は難しい世帯もあるのではと推測される。利用者の実情に応じた対応が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 高丘小中一貫教育校へ通う児童生徒の通学状況について</p> <p>(1) 通学区域外から通う児童生徒の通学状況について (要旨) 市内初の小中一貫教育校として令和3年度から始まった同校は、通学区域特認校制度を導入しており、従来の通学区域外から通う児童生徒の多くはバス等の公共交通機関を利用している。通学で利用するバスについて改善を求める声があるが、現状の認識と改善策について見解を問う。</p> <p>(2) 通学区域外から通う児童生徒の今後の通学手段の確保について (要旨) 今後も通学区域外からの児童生徒数は増え続けると見込まれる。現状でもバスに乗れず置き去りになる児童生徒がいる中、専用スクールバスの導入やバスの増便など、通学手段確保のための将来を見据えた対策が必須であると考え、市の見解を問う。</p> <p>3 オーガニック給食について</p> <p>(1) 本市における取組状況について (要旨) 令和3年6月議会において「幼小中学校給食の無添加を目指す請願」が採択され、1年が経過した。その後の本市の取組状況について問う。</p>		

発言順位	5	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 デジタル地域通貨について</p> <p>(1) 地域通貨の常設型デジタル化について (要旨) 本市では、プレミアム商品券やサポート利用券など、紙媒体かつ期間限定の地域通貨は発行されているが、今後、デジタル技術を利用した常設型の地域通貨を新たに発行するべきと考える。本市の認識を問う。</p> <p>2 明石市民まつり・花火大会について</p> <p>(1) 市民まつり開催に向けた協議について (要旨) 各所でイベントが再開されており、本市でも市民まつり再開に向けて協議を始めるべきと考えるが、認識を問う。</p> <p>(2) 花火大会の再開について (要旨) 昨今、本市において花火大会の再開を求める声が多く、再開への期待も高い。市民まつりの協議とあわせて花火大会再開の協議をするべきと考えるが、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	6	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p>1 マイナンバーカード交付推進について</p> <p>(1) 本市のマイナンバーカード交付申請の現状について (要旨) 国は、来年3月末までに、ほぼ全ての国民にマイナンバーカードを 行き渡らせるとの目標を掲げている。市の交付申請の現状を問う。</p> <p>(2) 10月以降のマイナンバーカード交付推進への取組について (要旨) マイナポイント付与の特典は9月末までのマイナンバーカード 交付申請者が対象のため、10月以降の申請者数の減少が危惧される。 今まで以上の取組が必要だと考えるが、市の取組方針を問う。</p> <p>(3) 様々な事情により本人による申請が困難な市民に対する交付推進への 取組について (要旨) 施設入居者や長期入院患者など、本人による申請が困難な市民 に対する交付推進への取組を問う。</p> <p>2 带状疱疹ワクチン接種費用助成制度について</p> <p>(1) 本市における带状疱疹ワクチン接種の現状について (要旨) 带状疱疹は、80歳までに約3人に1人が発症すると言われて いる。ワクチン接種による予防効果が高いとされているが、本市 における現状を問う。</p> <p>(2) 带状疱疹ワクチン接種費用助成制度の導入について (要旨) 带状疱疹ワクチンの接種費用は高額であるため、助成制度を求 める声が寄せられている。一部の自治体では助成制度が開始され ているが、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>1 明石市職員の定年年齢引上げについて</p> <p>(1) 制度導入に向けた進捗状況について (要旨) 本市においても、2023年度からの制度導入を予定しており、本年9月議会に定年引上げに関する条例改正議案の提案を予定していると説明があったが、このたびの提案に至らなかった理由を問う。</p> <p>(2) 役職定年制の特例適用について (要旨) 60歳到達以降も引き続き管理職として勤務することは例外的な措置であり、組織の新陳代謝を確保して公務能率の確保を図るという制度の趣旨を逸脱しない範囲で定める必要がある。どのような場合に例外措置を設けるのか。</p> <p>(3) 再任用職員の処遇改善について (要旨) 年金受給が可能であった制度導入当時と無年金期間が拡大した現在とを比べると状況も大きく異なっている。低い職務の級に格付けするような現在の運用は、根本的に見直す必要があると考えるが、認識を問う。</p> <p>2 災害時要配慮者への支援について</p> <p>(1) 災害時要配慮者支援の現状について (要旨) 本市における災害時要配慮者の範囲と人数について聞く。</p> <p>(2) 災害時要配慮者支援の課題と今後の取組について (要旨) 個別避難計画の拡大をはじめ、災害時要配慮者の安全を確保していくための今後の取組について聞く。</p> <p>3 市民病院の建て替えについて</p> <p>(1) 市民病院建て替え検討委員会設置について (要旨) 躯体や設備の老朽化が顕著となり、安全で安心な医療提供体制に支障が生じる中、建て替えに向けた検討を早期に着手することが望まれる。検討委員会の設置が必要と考えるが、市の考えを聞く。</p>		

発言順位	7	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>4 明石市道路通報システム（ここみてReport）について</p> <p>(1) ここみてReportの通報割合は。 (要旨) 日頃から、道路モニターをはじめ、市民から多数の情報が寄せられていると思うが、ここみてReportによる通報割合は増えているか。</p> <p>(2) ここみてReportの周知について (要旨) 利用できれば有効だと考えるものの、市民への周知が不足していると感じているが、認識を問う。</p> <p>(3) 本システムを道路だけではなく公園管理・環境問題などにも拡大できないか。 (要旨) 遊具の損傷やごみの不法投棄などに対する通報にも拡大すればさらに有効活用ができると考える。</p>		

発言順位	8	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 河川の管理について</p> <p>(1) 堤防等について (要旨) 市内の河川で堤防ののり面崩落が発生した。市内河川の堤防の安全管理は大丈夫なのか、現状を問う。</p> <p>(2) 環境美化について (要旨) 河川区域の雑草やごみ等の除去について問う。</p> <p>(3) 橋梁について (要旨) 市内には200本を超える橋が架かっている。橋梁及び橋台周辺の現状について問う。</p> <p>2 一人暮らしの方の安全・安心な暮らしの確保について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について (要旨) 日本国内でコロナが最初に確認されてから2年9か月になろうとしている。第7波を迎え、国として様々な対策を行っているが、独自の対応を行っている地方自治体も多い。現在、本市の感染状況は過去最高となり、様々な問題に直面している。そこで、本市の一人暮らしの方へ向けた新型コロナウイルス感染症対策についての考え方と具体的な対策について問う。</p> <p>(2) 災害予防対策について (要旨) 大きな災害が起こると誰もが不安に襲われるが、少しでも安全で安心に過ごすためには、どう行動するかを素早く判断することが大切である。そのためには、基本の災害対策を頭に入れ、必要な準備を整えておくことが重要である。そこで、本市の一人暮らしの方へ向けた災害予防についての考え方と具体的な対策について問う。</p>		

発言順位	9	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 プレコンセプションケア（若い男女を対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組）について</p> <p>(1) 令和3年2月9日閣議決定された「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」にあるプレコンセプションケアについての認識は。</p> <p>(要旨) 若い男女を取り巻く環境が大きく変化している中で、将来の妊娠につながる健康管理に関する情報提供を推進するプレコンセプションケアの取組が必要である。</p> <p>(2) プレコンセプションケアの理念を踏まえた学校教育について</p> <p>(要旨) 学校で行われている保健（健康）教育にプラスして、今後はプレコンセプションケアの理念を踏まえた学校教育が重要である。</p> <p>(3) プレコンセプションケアの普及啓発のために、市独自のプレコンノートの配布を。</p> <p>(要旨) 市独自のプレコンノートを配布することで、若い男女が正しいヘルスケアの知識を学び、将来のライフプランを立て、人生100年時代を自分らしく健康で生きることができるよう推進してほしい。</p> <p>2 病児・病後児保育事業の拡充について</p> <p>(1) 病児・病後児保育の現状と利用状況について</p> <p>(要旨) 働く女性が増加しているが、お子さんが病気になった際に、病児・病後児保育の受け入れが少なく、大変苦勞されていることから、病児・病後児保育の現状と利用状況について問う。</p> <p>(2) 保育所併設型病児・病後児保育の導入について</p> <p>(要旨) 全国で保育所併設型病児・病後児保育に取り組んでいる園は12%あると聞き及んでいる。子どもが多い西明石、大久保北、市西部に保育所併設型病児・病後児保育を導入し、安心して子育てできる環境づくりが必要と考える。</p>		

発言順位	9	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>3 脱炭素社会実現に向けた本市の考え方について</p> <p>(1) 脱炭素社会実現に向けた、これまでの成果と次年度に向けた取組について (要旨) 再生可能エネルギー活用の推進(市民・事業者向け)や脱炭素社会実現に向けた調査及び教育施設等での照明設備のLED化の進捗状況と、次年度に向けた取組について問う。</p> <p>(2) 脱炭素型ライフスタイルへの転換を促進する「グリーンライフ・ポイント」の導入について (要旨) 政府は、国民のライフスタイルの転換を促すために、消費者の環境配慮行動にポイントを付加する「グリーンライフ・ポイント」を経済対策に盛り込んでいることから、本市でも導入ができないか。</p>		

発言順位	10	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 感染者全数把握の見直しの影響について (要旨) 新型コロナウイルス感染者数が高止まりし、医療機関や保健所の業務が逼迫していることを受けて、政府は全数把握の方法を見直すと表明した。本市の感染症対策への影響と対応についてお答えください。</p> <p>(2) 自主療養制度への対応について (要旨) 兵庫県は8月5日から当面の間、県民で2歳から59歳以下等の6点の条件を満たす人を対象に自主療養制度を開始しました。この自主療養者は、感染症法に基づく患者ではないため、宿泊療養や食料品の配布等は利用できないこととなっています。制度利用の市民への対応についてお答えください。</p> <p>(3) オミクロン株対応2価ワクチンについて (要旨) 新型コロナワクチンの4回目接種率は18%と低迷している。60歳以下の人への接種はこれからであるが、政府は5回目の接種としてオミクロン株対応2価ワクチン接種を今月から開始するとしています。本市の対応についてお答えください。</p> <p>(4) 市民広場の集団接種会場としての利用について (要旨) 本市の集団接種会場は2か所あり、土日の接種会場として使用している。市民広場については、ワクチン接種率の動向を見ながら本来の中心市街地活性化の趣旨に沿った利用に戻すべきと思いますが、見解をお答えください。</p> <p>2 市役所新庁舎の整備について</p> <p>(1) 基本設計及び実施設計のスケジュールについて (要旨) 2019年(令和元年)10月、市町村役場機能緊急保全事業の適用を条件に新庁舎を現在地に早期整備することを求めて、整備候補地に関する決議を全会一致で議決した。以降、3年が経過し、令和5年度の実施設計完了が交付税交付の最終リミットになるが、今後のスケジュールについてお答えください。</p> <p>(2) 市民本位の本会議場等の配置について (要旨) 当初案では3階に本会議場を配置していたが、市民の傍聴参加の視点からは、最上階の市民利用エリアとの一体整備が望ましい。また、同じ趣旨から、大会議室・委員会室も最上階に配置することが望ましいと考えるが、見解をお答えください。</p>		

発言順位	10	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(3) 二元代表制から見た階層別配置について (要旨) 二元代表制の観点から、執行機関としての市長、議決機関としての議会があり、他市と同様に階層を分けることが望ましいと思うが、見解をお答えください。</p> <p>(4) 展望テラスの市民開放について (要旨) 本市の立地は明石海峡を眼前にした希有の景観を有している。瀬戸内海国立公園の東の玄関口であり、大阪湾、明石海峡大橋、淡路島、播磨灘が一望できる絶景を市民等に開放すべきである。執務時間以外にも開放できるように整備してはどうか。お考えをお答えください。</p>		
	<p>3 山手小学校の教育環境について</p> <p>(1) 運動場の現状認識と対策について (要旨) 山手小学校の児童数は県下2位、市内1位で、現時点で児童数1,252名のマンモス校である。市道山手環状線の道路用地として学校の敷地1,160平方メートルを提供し、現在の運動場は5,319平方メートルである。学校教育法により規定されている児童数721人以上の学校に必要な7,200平方メートル以上を大きく下回っており、早急な対策が必要であります。現状認識と対策についてお答えください。</p> <p>(2) 教室の不足とトイレ対策について (要旨) 現在、児童相談室、特別支援学級の教室が不足している。そこで、コンピューター室を改修して充当するべきと考えます。 また、児童数の増加により、和式と洋式の半々の洋式トイレにトイレ待ちが発生している。早急な対策が必要と思うが、見解をお答えください。</p> <p>(3) 正門の移動による安全対策について (要旨) 山手小学校は東西南に3つの校門があるが、東門及び西門を登下校時以外は封鎖して、南門を正門として使用し警備員を配置することで、安全対策を強化することが地域の総意と聞く。対応についてお答えください。</p> <p>(4) 放送設備の老朽化対策について (要旨) 1987年(昭和62年)の東校舎の大規模改修以来、35年が経過する中、特に放送設備の老朽化が著しく、全面更新の時期が到来している。見解をお答えください。</p>		

発言順位	11	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発 言 事 項	<p>1 施設・里親などを巣立つケアリーバーへの支援について</p> <p>(1) 社会的養護から離れたケアリーバーの本市の現状について (要旨) 厚生労働省が昨年4月に公表したケアリーバー全国実態調査では、18歳での自立は極めてハードルが高く、孤立して生活苦に陥るケースなどが見られたとのことであるが、本市の現状について聞く。</p> <p>(2) 改正児童福祉法に伴う今後の取組について (要旨) このたびの改正児童福祉法では、ケアリーバーへの支援が拡充され、18歳の年齢制限の撤廃や援助の要件が緩和された。自立支援コーディネーターの配置も必要と考えるが、2024年施行となる改正児童福祉法に伴う今後の本市の取組について聞く。</p> <p>2 路線バス藤江周辺線地域の高齢者・障がい者等への移動支援について</p> <p>(1) 路線バス藤江周辺線地域の高齢者・障がい者等への移動支援の今後の取組について (要旨) これまで路線バス藤江周辺線地域の高齢者・障がい者等への移動支援を訴えてきたが、今後の取組について聞く。</p> <p>3 子どもたちが楽しめるスケートボードパークの整備について</p> <p>(1) 子どもたちが気軽に楽しめるスケートボードパークの整備について (要旨) 東京オリンピックの競技にもなったことから、まちでスケートボードを楽しむ子どもたちをよく見かけるが、市民からは通行の妨げになるなどの声も寄せられている。子どもたちが気軽に練習できるスケートボードパークを整備しないか。</p>		

発言順位	12	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 明石養護学校にスクールバスを</p> <p>(1) スクールバス(通学用車両)導入に向けての進捗状況は。 (要旨)かねてから、保護者の方から希望が出されていたスクールバス導入に向けた検討を開始していると聞くが、進捗状況を聞く。</p> <p>(2) スクールバス利用を希望するお子さん全てが利用できるのか。 (要旨)障害の重い方もおられるが、希望すれば全ての生徒さんに対応できるのかを聞く。</p> <p>(3) 保護者はバス停までの送り迎えになるのか。 (要旨)共働きの家庭も近年増えている。バス停までの送り迎えがあれば助かると思うがいかがか。</p> <p>2 生活保護受給者に対する支援</p> <p>(1) 物価高騰に対する生活保護受給世帯に対する支援は。 (要旨)円安やウクライナ危機などを起因とする物価高騰は国民の生活を苦しめている。とりわけ生活保護受給世帯は、苦しい状態に置かれている。</p> <p>(2) 熱中症対策として電気代に対する助成について (要旨)エアコンがあっても電気代を気にして使用しない事例もある。電気代補助について検討する必要があると考える。暖房費がかさむ時期に支給される冬季加算制度と同様に、夏季加算制度も新設するよう国に要望することも必要ではないか。市の見解を聞く。</p> <p>3 下水道汚泥の堆肥化を</p> <p>(1) 本市の下水道汚泥はどのように処理されているのか。 (要旨)コンクリートに混ぜる、バイオマス燃料として活用する等、議会でも議論されてきたが、どのように処理されているのか、現状を聞く。</p> <p>(2) 下水道汚泥を堆肥として利用しないか。 (要旨)円安、ウクライナ危機の影響で海外から輸入する肥料の価格が高騰していると聞く。SDGsの観点から、地球に優しい資源の利用法として最適だと考えるが、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	12	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>4 介護保険事業について</p> <p>(1) 2022年10月からの介護職員等のベースアップ等支援加算について (要旨) 財源はどうなるのか、利用者の負担増にならないか、第9期の介護保険料に影響はないのかを聞く。</p> <p>(2) 介護保険料の賦課割合を見直すべきではないか。 (要旨) 65歳以上の方が納める介護保険料について、本市では低い所得段階の方の保険料が高すぎる一方、最高額となる第14段階の賦課割合はあまりにも少ない。他市のように高所得者の賦課割合を引き上げるべきではないか、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	13	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p>1 西明石活性化について</p> <p>(1) 西明石駅再整備について (要旨) 「本当に住みやすい街大賞2022 in 関西」第1位に西明石が選ばれ、市内外から西明石への期待が寄せられております。しかし、西明石のまちは線路を挟んで北と南とで分断されており、地域住民の往来がスムーズではありません。今回の再整備で期待したいところですが、駅の南北を結ぶ自由通路やマンション計画敷地内を通る駅前から浜国道を結ぶアクセス道路といった課題等について、その後のJR西日本との交渉をお聞かせください。</p> <p>2 県立明石公園について</p> <p>(1) 県・市連携について (要旨) 県は、県立都市公園のあり方検討会に「明石公園部会」を設置しました。市は、職員によるプロジェクトチームを設置し、双方による会合が開かれておりますが、どのような話し合いがなされ、県は今後どのような公園を目指し、市の意向は、どの程度県に取り入れていただけるのでしょうか。</p> <p>3 市内の医療体制について</p> <p>(1) 県立がんセンターと明石市立市民病院について (要旨) 県立がんセンターは、建て替え計画が進行中ですが、明石市立市民病院も老朽化が進み、近い将来、建て替え時期が到来すると思います。県と市が連携することで、より良い病院ができるのではないのでしょうか。市の見解をお聞かせください。</p> <p>4 明石川の災害時の対応について</p> <p>(1) 県と市の役割について (要旨) 近年、線状降水帯による大雨災害発生危険度が高まっておりますが、明石川は県の管轄と聞いております。災害発生時には、県は迅速に対応していただけるのでしょうか。県と市の役割等をお聞かせください。</p>		

発言順位	13	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p>5 たこバスルートの延伸について</p> <p>(1) たこバスルートの利用動向調査について (要旨) コロナ禍で、たこバスの利用状況に変化があり、市民の方々から様々なお問合せが増えているとお聞きします。特に西部エリアでは、高低差があり、高齢者の利便性に直結する魚住駅周辺や、また、西明石エリアでは、藤江駅止まりでなく明石医療センターまでルートを伸ばしてほしいとのお声があります。現状と今後の本市の取組をお聞かせください。</p> <p>6 旧統一教会について</p> <p>(1) 旧統一教会及び関連団体と市との関わりについて (要旨) 旧統一教会との関わりがあるとされている「家庭教育支援法案」をめぐる諸問題などが全国の自治体に広がっておりますが、本市の状況と今後の対応について、お聞かせください。</p> <p>7 人と動物の共生について</p> <p>(1) 災害時におけるペット同行避難所について (要旨) 市内の避難所では、「すべての人にやさしいまちづくり」の取組として、大切な家族であるペットと一緒に避難する「ペット同行避難者」を原則受け入れておりますが、ペットとの避難は、様々なトラブルが予想されます。全市民に理解いただけるよう広報するとともに、認識を共有する必要があります。避難所にペットと同行する際にどのようなルールを設定されているのでしょうか。現在の取組等をお聞かせください。</p> <p>8 ボランティア団体支援について</p> <p>(1) 明石市ボランティア連絡会について (要旨) 明石市社会福祉協議会の中に明石市ボランティア連絡会があります。市民参画の観点からも、本市のボランティア支援は重要だと思います。コロナ禍で活動が休止されている団体も多々あるとのことですが、現状並びに今後の市の取組もあわせてお聞かせください。</p>		

発言順位	14	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発 言 事 項	<p>1 障害者支援について</p> <p>(1) 日常生活用具給付等事業における「暗所視支援眼鏡」購入費用の助成について</p> <p>(要旨) 「網膜色素変性症」による「夜盲」は、「暗所視支援眼鏡」で暗所歩行が可能となるとされる。市民の日常生活の安全確保は市の重要な役割であり、社会参画や夜間の災害発生時の安全な避難にもつながるため、本市としても助成を検討すべきだと考える。</p> <p>令和3年12月議会で一般質問を行ったが、前向きな答弁はなかった。他都市の動向などを調査するとのことであったが、その後の検討状況をお尋ねしたい。</p> <p>(2) コミュニケーションボードの普及について</p> <p>(要旨) 本市の庁舎内にある福祉コンビニでは、指さしで利用できる「コミュニケーションボード」が設置されている。特にコロナ禍でマスクが強いられる中、非常に有効なツールである。本年6月議会で一般質問を行った際には、関係団体や当事者の意見を参考にしながら進めるとの答弁であったが、その後の取組についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	15	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p>1 民生児童委員を取り巻く諸課題について</p> <p>(1) 持続可能な民生児童委員制度構築のための負担軽減策について (要旨) 本年12月の民生児童委員一斉改選を控え、充足率100%の達成を目指し、準備が進められています。民生児童委員については、特別定年延長という例外規定はあるものの、概ね75歳(主任児童委員は65歳)という定年制を設けている以上、将来にわたる持続可能性を担保するため、いわゆる現役世代の方々が負担感なく活動できる仕組みの構築が必要と考えます。</p> <p>民生委員法第14条及び児童福祉法第17条が規定する職務のうち、センシティブな個人情報扱うことから非常勤特別職の地方公務員である民生児童委員でしかできない活動(見守り訪問等)と、それ以外の活動に整理し、負担軽減に努めてはどうかと思います。市の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 活動費用弁償費について (要旨) 本市の民生児童委員活動費用弁償費は、国から措置される地方交付税の60,200円に、市独自の上乗せ支給額60,200円を加えた、1人あたり年間120,400円です。本市は比較的支給額が多い地方公共団体の一つであると承知していますが、地区民生児童委員協議会の会費負担もあり、民生児童委員ご本人の手元には半分程度しか残らないケースも一定数あるようです。</p> <p>物理的な負担感の軽減に加え、費用面でも負担軽減に努め持続可能な仕組みとすべく、活動費用弁償費の市独自の上乗せ支給の増額について、市の見解をお伺いします。</p> <p>(3) こども家庭庁発足とワンストップ相談体制の充実化について (要旨) 来年4月のこども家庭庁発足に伴い、民生委員は引き続き厚生労働省の所管ですが、児童委員はこども家庭庁の所管となることから、いわゆる「縦割り行政」による弊害が生じないか、危惧しています。国は、所管の分割による地方公共団体の事務負担の増加や、一人一人の民生児童委員が記入・報告する活動記録に係る事務負担の増加はないとしています。本市としての対応をお伺いします。</p> <p>また、住民と行政等をつなぐパイプ役として、市役所内の様々な部署のみならず、多くの関係機関に住民が抱える様々な課題を届けている民生児童委員からの相談にワンストップで対応する体制の充実化について、市の見解をお伺いします。</p>		

発言順位	15	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p>(4) 中核市移行による地域福祉活動の一層の充実について (要旨) 本市は平成30年4月の中核市移行に際し、権限を活かして地域の実情に柔軟に対応できる体制をつくり、民生児童委員がより活動しやすい環境を整え、地域福祉活動の一層の充実に取り組むとしていました。この間の取組と今後の取組についてお伺いします。</p>		

発言順位	16	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>1 明石市で安心して出産できる産後ケア施設の体制づくりと産後ケア事業の改善について</p> <p>(1) 通所、宿泊ができる産後ケア施設の体制づくりについて (要旨) 現在、明石市内には、産後ケアとして通所、宿泊ができる助産所がない。医療機関の受け入れも、コロナ禍で十分な体制が整わず希望したが断られたという市民の声をお聞きしている。また、周りのサポートがないために、産むことを諦めたという声もある。 そこで、明石市で安心して出産し、子育てのスタートをサポートするための産後ケアの受け皿として、助産所開設の支援や地域拠点整備などの体制づくりが急務だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 明石市で安心して出産できる産後ケア事業の改善について (要旨) 施設面において十分な体制づくりをした上で、通所、宿泊の利用者負担の減額、利用回数を増やす、対象月齢を1歳までにする、通所形態をフレキシブルにする、積極的な広報で周知するなどの改善を行えば、明石市で出産したいと思う市民を増やすことにつながると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) ひよっこひろばの役割と再開について (要旨) 産前産後サポート事業のデイサービス型として開設していた「ひよっこひろば」は、生後4か月までの母子が予約なしで参加でき、お母さん同士が気軽に知り合える場として多くの利用があった。コロナで中止となり、2021年4月からは子育て支援センターの事業に移行したとのことだが、なぜ変更したのか。ひよっこひろばの役割や意義をどう捉えているのか。今までと同じ目的の事業として実施できているのか。こども健康センターとの連携はできているのか。コロナ前のような体制に戻すことはできないのか、市の見解を問う。</p> <p>2 市役所新庁舎建て替え計画について</p> <p>(1) 速やかな市民への説明と意見公募について (要旨) 2年前に公表された基本設計(素案)は大きく修正されている。現時点での案を速やかに市民に説明、意見公募を行い、最終案に市民の意見が反映できるよう時間を十分とるべきではないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>(2) 市民と学識者を入れた審議組織の設置について (要旨) 新庁舎の建設は「明石市制百年の大計」とも言うべき一大事業であるにもかかわらず、市民や学識者等を交えた審議機関をつくらずに進めてきた。なぜ、今まで設けなかったのか。基本設計の策定から実施設計に入る重要な時期に差しかかっている現在、新庁舎と市役所業務の在り方について本質的な議論をする場が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 新庁舎建て替え計画の全体構想について (要旨) 新しい市役所及び周辺ゾーンをどのようにしていくかの全体構想の議論が進んでいない。県が管理する港湾地域も含め、一帯の整備構想を並行して進めなければ、市民にとって夢のある新庁舎にはならないと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) ゼロエネルギー、発電する新庁舎への発想の転換について (要旨) 新庁舎は、ZEB (ゼロ・エネルギー・ビルディング) にする、新庁舎で発電した電力を明石の豊かな海づくりに利用するなど、持続可能な明石のまちづくりの象徴、脱炭素先行地域へのエントリーも視野に入れた発想の転換をしてはどうか、市の見解を問う。</p>		
	<p>3 明石公園に関するPT (プロジェクトチーム) の取組について</p> <p>(1) 明石公園に関するPTの現状について (要旨) 本年4月1日に設置された明石公園に関するPTは、自然環境保全や過剰な樹木伐採について、市民や専門家の声を丁寧に聞き取り、県にヒアリング状況として提出しているが、その扱いについてどのように把握しているのか。明石公園の未来にどう反映されるのか。また、8月15日号の広報あかしで公募した市民の意見募集の状況について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 明石市が考える魅力あふれる公共空間について (要旨) 本年6月議会総務常任委員会で報告のあった明石市PTが目指す「より一層利用者目線に立った魅力ある公共空間」について、PTメンバーでどのような共通認識がなされているのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 市民や専門家が参画する協議会の設置について (要旨) 庁内職員で構成するPTだけでなく、市民や専門家が参画した市の協議会を設置し、今後も兵庫県に対して明石公園のあるべき未来を市として明確に示していくべきではないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>(4) 兵庫県の情報を明石市民に提供する仕組みについて (要旨) 兵庫県がホームページに情報を掲載していても、なかなか明石市民には伝わらない。気がついたら、パークマネジメントが導入されていた等、今後取り返しがつかないことを繰り返さないためにも、兵庫県の情報を明石市民に届ける仕組みを早急につくるべきだと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 議案第67号 令和3年度明石市一般会計歳入歳出決算について</p> <p>(1) 市民全員・飲食店サポート事業について (要旨) 事業の成果と専決処分に係る認識を問う。</p> <p>(2) 土地改良事業について (要旨) 林谷池定点観測調査業務委託の成果と今後の見通しについて問う。</p> <p>(3) こども医療費助成事業について (要旨) 成果と課題について問う。</p> <p>2 地方税法上の守秘義務調査特別委員会からの改善提案について</p> <p>(1) 改善提案に係る認識について (要旨) どのように受け止めているか、認識を問う。</p> <p>(2) 法令遵守の徹底について (要旨) 「税務情報の取扱いが地方税法の規定に従って忠実に行われているか、改めて検証することが必要である」との指摘に係る見解を問う。</p> <p>(3) 弁護士職員の有効活用について (要旨) 「本市が全国に誇る12名の弁護士職員の知見をさらに有効活用できるような体制整備を進めることを提案する」との指摘に係る認識を問う。</p> <p>(4) 組織の硬直化を危惧するとの指摘について (要旨) 「謙虚に各職員等の助言や意見を聞くことが肝要である」との指摘に係る見解を問う。</p> <p>(5) SNSへの投稿について (要旨) 認識を問う。</p> <p>3 明石市総合浸水対策計画について</p> <p>(1) 取組の現状と成果、今後について (要旨) 過去の経験を踏まえた対応は行われているか、市内において情報共有・連携は十分行われているか、認識を問う。</p> <p>(2) 既存施設の有効活用について (要旨) 過去に整備した雨水管等が、所期の目的どおりその機能を十分果たしているか。整備済みの施設について、市内での認識は一致しているか、認識を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>4 旧統一教会及び関連団体と本市の関わりについて</p> <p>(1) これまでの対応について (要旨) 旧統一教会と政治との関わりが相次いで明らかになる中、自治体との関わりについても注目されている。市は、当該団体と何か関わりを持ったことがあるか、見解を問う。</p> <p>(2) 今後の対応について (要旨) 当該団体に対する今後の対応について認識を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</p> <p>(1) 生活困窮者への支援の現状について (要旨) コロナ禍で職を失うなどの経済損失の回復が期待されておりましたが、新型コロナウイルスの猛威は収まる様子を見せません。物価が高騰するなど、以前にも増して生活は苦しくなっております。生活困窮の改善にはめどが立たないのが現状ではないでしょうか。第7波に際し、生活が苦しくなった方への対応は適切に行われていたのでしょうか。現状及びこの間の取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の支援策について (要旨) 長期間のコロナ対策による疲弊、苦境を把握し、生活困窮を理由に命を絶つことがないように、今一步、施策のさらなる展開を望みます。親の所得を気にして進学を諦めることなども生じないことを祈ります。市民の生命・生活を守る、精神面も含めた支援策の今後の展開をお聞かせください。</p> <p>(3) 市民全員・事業者サポート事業（第2弾）について (要旨) 本年6月議会で可決された全市民へ3千円のサポート券を配付する市民全員・事業者サポート事業（第2弾）に賛成いたします。第6波が収まりかけていた当時と、1日の死者数が数百名の状態が続いている今日では状況が異なり、さらなる経済疲弊が予想されます。例えば、基金を崩してでも補正予算を計上されるのはいかがでしょうか。見解をお聞かせください。</p> <p>2 自治会未加入者の方々への対応について</p> <p>(1) 自治会未加入者数の推移と誰一人取り残さない対応について (要旨) 近年、自治会未加入の方が増加しているとお聞きいたしております。広報紙や回覧板による行政サービスの伝達など、情報が伝わらないことが懸念されます。誰一人取り残さない本市の姿勢として、現状と今後の対応をお聞かせください。</p>		

発言順位	18	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>3 (仮称) 明商ネット大学の創設について</p> <p>(1) 教育改革をもたらすITを駆使した本市独自の取組について (要旨) 大学に行きたかったけれど、「行けなかった」「学びたい」と思う方は多いと思います。もし、本市のように、市立の高校を運営している環境下で、大学の学びの場を提供することもできたら、多くの方の夢をかなえられるのではないのでしょうか。最近では、スポーツ選手がインターネットを活用して高校で学びながら、オリンピックや国際大会で世界を巡っておられるとお聞きします。文明の力を用いれば不可能を可能にできると思います。見解をお聞かせください。</p>		